

2020年(令和2年)7月3日

千代田区長(新型コロナウイルス感染症対策本部長)

石川雅巳 様

千代田区議会議長(区議会災害対策支援本部長)

小林たかや様

共産党区議団

木村 正明

ちよだの声

小枝 すみ子

飯島 和子

立憲政策フォーラム

岩佐りょう子

牛尾こうじろう

立民新生ちよだ

岩田かずひと

千代田を紡ぐ会

長谷川みえこ

2020年(令和2年)千代田区議会第2回定例会に設置された予算特別委員会において、多くの議員から千代田区独自の支援策がないことに落胆の声が相次いだ。区民・事業者の状況は一刻の猶予もない。よって私たちは下記の通り個別給付を含め「暮らしを守る補正予算」を速やかに提示されることを強く求める。

記

1. 中小企業・個人経営者等の事業継続のための貸付・助成

新型コロナウイルス感染症に伴い売り上げ減少に苦しむ中小企業者や飲食店経営者に対し、コロナ対策として一時的に事業継続に要する資金の貸付、及び緊急家賃助成を可及的速やかに実施すること。

2. 減収等で困窮するビルオーナー救済支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けテナントの退去や家賃の減額に応じるなどの対応に伴う減収等で困窮するビルオーナーを救済するため、固定資産税のさらなる減免を含むあらゆる施策を東京都に行うよう申し入れること。

3. 学校給食の減免と子どもたちの学びと育成の保障

コロナ自粛により通学が安定しない期間の給食費の減免措置と、第2波、第3波に向けて子どもたちの学びの体制と育成の保障を。

4. 産前・産後のケアと、育児・家事支援

コロナウイルス感染症により、里帰り出産ができず、産前・産後の支援を受けられない母親のため、育児支援・家事支援を、助産師と家事支援のサポート体制の充実。

5. 基金のあり方の見直しと区民に寄り添う施策を

新型コロナウイルス感染症の長期化が予測される中、基金を含めた財政支出のあり方を見直し、区民の視点から慎重かつ丁寧に再検証し、ひとり親世帯など困窮する区民の救済、経済再生のために、全面的に寄り添う施策に全力をあげることを求める。

以上